

さくら介護グループ、本郷に 適合高専賃住宅を7月開設

居宅介護サービスをFC展開するさくら介護グループ（中区大手町3丁目13―18、田本慎二社長）は7月1日、三原市本郷南4丁目14―20に同地区では初となる適合型高齢者専用賃貸住宅「さくらコンフォート本郷」のオープンを予定している。直営の介護サービス拠点を統合して、利用者の困い込みを図る。

3階建延1268平方メートルに1区画18平方メートルの30室を整備。自立し要介護5の共同生活ができる人を対象に入居を募る。月額総費用は割女に設定し、食費や生活支援サービスなどを含む12万1000円。申込金や敷金は不要。介護費は別途。本郷中央病院と連携し、24時間の介護体制を整える。訪問のほか居宅介護支援を実施。高専賃として新設された建物のテナントとして運営する。

介護サービスの直営は、広島・岡山・島根・東京・新潟に展開し、10カ所目を西区新井口に11年1月開設。FCは全国240カ所、半数近くが鍼灸院の加盟による。月5カ所ペースで増えており、年内には300カ所になる見通しだ。本郷の高専賃は、従来の訪問介護の利用者サービスを拡充すると同時に、利用者獲得の拠点性を高める狙い。同社はさくらモ던デックス（東京）を10年4月設立し、訪問マツサージを開始。業務拡張により3月、中区加古町から大手町に本社移転し、東京本部も5月に港区芝浦3丁目内で番地移転した。